

令和9年度

大 学 院 創 成 科 学 研 究 科
博 士 前 期 課 程
学 生 募 集 要 項

〔 学部3年次生を対象とする特別選抜 〕
(理学系・工学系)

山 口 大 学

I 専攻別募集人員

学 系	専 攻	コース	募集人員
理学系	基盤科学系専攻	数 理 科 学 コ ー ス	若干名
		物 理 学 コ ー ス	
		情 報 科 学 コ ー ス	
	地球圏生命物質科学系専攻	生 物 学 コ ー ス	
		化 学 コ ー ス	
		地 球 科 学 コ ー ス	
工学系	機械工学系専攻	応 用 医 工 学 コ ー ス	
		航空宇宙エネルギーコース	
		メカノシステムデザインコース	
	建設環境系専攻	社 会 建 設 工 学 コ ー ス	
		国 際 建 設 技 術 コ ー ス	
		環 境 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	
		建 築 学 コ ー ス	
	化学系専攻	物 質 化 学 コ ー ス	
		生 命 化 学 コ ー ス	
		環境化学・化学工学コース	
	電気電子情報系専攻	電 子 デ バ イ ス 工 学 コ ー ス	
		電 子 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	
		知能情報メディア工学コース	
		情 報 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	

(備考)

各専攻の内容（研究内容，指導教員名）については，山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内（11ページ～）を参照してください。

II 出 願 資 格

令和9年3月末日で大学に3年以上在学し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

Ⅲ 事前審査

Ⅱに定める出願資格の認定については、次のとおり事前審査を行います。

1. 事前審査を受けるための基礎資格として、次の各要件をすべて満たしていることが必要です。
 - (1) 出願時において大学の3年次に在学し、当該年度の3月31日で在学年数が3年に達する者
 - (2) 大学院教育を受けるために必要な授業科目の単位を修得している者又は履修中の者
2. 事前審査に必要な書類等は、次のとおりです。
 - (1) 出願資格事前審査申請書（本研究科所定の用紙）
 - (2) 在籍する大学の成績証明書及び現在履修中の授業科目が確認できる書類（履修届の写し等）
（本学理学部・工学部在学者は不要です。）
 - (3) 在籍する大学の学部・学科の履修規則及び講義要項等（本学理学部・工学部在学者は不要です。）
 - (4) 返信用封筒（長形3号の封筒に 本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、110円切手を貼ったもの。本学理学部・工学部在学者は不要です。）
3. 事前審査書類等について、「理学系」は令和8年10月14日（水）から10月16日（金）までに、「工学系」は令和8年12月2日（水）から12月4日（金）までに、「Ⅳ 出願手続等の5. 提出先」に提出してください。
4. 事前審査の結果については、「理学系」は令和8年11月6日（金）までに、「工学系」は令和8年12月18日（金）までに本研究科から通知します。
事前審査で出願が認められた者は、「Ⅳ 出願手続等」を参照のうえ、出願期間内に手続きを行うようにしてください。

注1. 本研究科博士前期課程に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。従って、各種国家試験等の受験資格で、大学卒業が要件になっているものについては、受験資格が得られないことになります。

注2. 事前審査を受けるにあたっては、必ず希望する専攻・コースの教員と事前に相談してください。

IV 出 願 手 続 等

1. 出 願 期 間

「理学系」 令和8年11月10日（火）～11月12日（木）《17時15分 必着》

「工学系」 令和9年2月1日（月）～2月3日（水）《17時15分 必着》

（備考）持参する場合は、9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出 願 書 類 等

入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。
写 真 票 受 験 票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真(4cm×3cm)を貼ってください。
検 定 料	30,000円 本研究科所定の払込用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書(お客さま用)を所定欄に貼り付けてください。 なお、納入された検定料は次ページ6.の検定料を返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
TOEIC又はTOEFL スコアシート	「 <u>基盤科学系専攻(物理学コース・情報科学コース)</u> 」・「 <u>地球圏生命物質科学系専攻(生物学コース・地球科学コース)</u> 」・工学系のうち受験区分コード51, 53, 56の志願者は、TOEIC又はTOEFLのスコアシートを提出してください。 ※TOEICスコアシートはオリジナル及びそのコピーを提出してください。オリジナルは、確認後返却します。(TOEIC L&R公開テストの受験者はデジタル公式認定証を印刷したのもでも可) ※TOEFLのスコアシートは、2026年1月20日以前に受験した者は郵送版の「Test Take Score report」(受験者用控えスコアレポート)のオリジナル及びそのコピーを提出してください。2026年1月21日以降に受験した者はTOEFLアカウントから山口大学へスコアの送付手続きを行い、ダウンロードしたPDFの受験者用スコアレポートを印刷したものを提出してください。スコア送付手続きを行う際のDIコードは、「山口大学 (G413)」を選択してください。 <u>スコアシートは、2024年4月以降に受験したものが有効となります。</u> なお、TOEICについては、TOEIC L&R公開テストのスコアのみ、TOEFLについては、TOEFL iBTが有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環としてTOEIC又はTOEFLを受験している場合は、大学等におけるTOEIC L&R IPテスト又はTOEFL ITP(団体向けTOEFLテストプログラム)のスコアも有効としますが、その場合は、TOEIC又はTOEFLを英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの(履修の手引のコピー等)を添付してください。(山口大学在学者は、履修の手引のコピー等の提出は必要ありません。)
工学系数学統一 試験の成績	受験区分コード51, 53, 56の志願者で、工学系数学統一試験を選択した受験者は、成績票及びそのコピーを提出してください。オリジナルは、確認後返却します。 なお、工学系数学統一試験の成績は、2024年度、2025年度及び2026年度に受験した成績が有効となります。
研 究 (希 望) 計 画 書	「基盤科学系専攻(数理科学コース)」の志願者は、研究(希望)計画書(本募集要項とじ込み)を提出してください。
あ て 名 票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。

- ※ 出願書類等については、本研究科入学者選抜において必要なためご提出いただくものであり、これによって得た個人情報を、個人情報の保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5 . 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「特定記録郵便速達」とし、封筒の表に「博士前期課程出願書類在中」と朱書きしてください。

4. 志 望 方 法

(1) 志望専攻

志望は1専攻1コースに限ります。

(2) 入学志願票の記入について

ア. 受験区分、志望専攻・コース及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内(11ページ〜)を参照のうえ、志望学系・受験区分・志望専攻・コース及び希望指導教員名を必ず記入してください。

イ. 受験区分コード

受験区分コードは、5ページを参照し、希望する指導教員と相談のうえ、志願票の受験区分コード欄に記入してください。

5. 提 出 先

「理学系」 山口大学理学部学務係

〒753-8512 山口市吉田1 6 7 7 - 1

電話(083)933-5215

「工学系」 山口大学常盤キャンパス学部事務部学務課入試係

〒755-8611 宇部市常盤台2丁目1 6 - 1

電話(0836)85-9012

6. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

「理学系」連絡先

〒 753-8511 山口市吉田1 6 7 7 - 1

国立大学法人 山口大学財務部財務課

電話 (083) 933-5098

「工学系」連絡先

〒 755-8611 宇部市常盤台2-1 6 - 1

国立大学法人 山口大学常盤キャンパス学部事務部会計課経理係

電話 (0836) 85-9006

V 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査、面接及び学業成績を総合して判定します。

※受験区分コード41, 52, 54, 55, 57の受験者には、学力検査を課しません。

1. 学力検査等

学系	専攻	コース	受験区分 コード	学力検査	面接
理学系	基盤科学系専攻	数理科学コース	41	課さない	
		物理学コース	42	英語※ ¹ , 専門科目	
		情報科学コース	43 (または 42) ※ ⁵	英語※ ¹ , 専門科目※ ⁵	
	地球圏生命物質 科学系専攻	生物学コース	44	英語※ ¹ , 専門科目	
		化学コース	45	専門科目※ ²	
		地球科学コース	46	英語※ ¹ , プレゼンテーション※ ³	
工学系	機械工学系専攻	応用医工学コース	55	課さない	面接 ※ ⁴
		航空宇宙エネルギーコース	55		
		メカノシステムデザインコース	55		
	建設環境系専攻	社会建設工学コース	56	英語※ ¹ , 応用数学※ ⁶ , 専門科目	
		国際建設技術コース	56		
		環境システム工学コース	52	課さない	
		建築学コース	57		
	化学系専攻	物質化学コース	51	英語※ ¹ , 応用数学※ ⁶ , 専門科目 (口頭試問※ ⁷)	
		生命化学コース	51		
		環境化学・化学工学コース	52	課さない	
	電気電子情報系 専攻	電子デバイス工学コース	53	英語※ ¹ , 応用数学※ ⁶ , 専門科目	
		電子システム工学コース	53		
		知能情報メディア工学コース	54	課さない	
		情報システム工学コース	54		

※1 英語能力テスト (TOEIC又はTOEFL) のスコアにより評価します。筆記試験は行いませんので注意してください。
スコアの換算については別表1を参照してください。

別表1 : TOEICとTOEFLのスコア換算式

TOEICとTOEFLのスコアは、TOEIC600点とTOEFL (iBT) 60点をそれぞれ筆記試験100点満点の80点に換算して評価します。換算式は以下のとおりです。

x : TOEIC又はTOEFLのスコア

y : 換算点 (100点満点における評価点)

TOEIC		TOEFL	
$y = (2/15) x \quad (0 \leq x \leq 600)$		$y = (4/3) x \quad (0 \leq x \leq 60)$	
$y = (2x + 1920) / 39 \quad (600 \leq x \leq 990)$		$y = (x + 180) / 3 \quad (60 \leq x \leq 120)$	
換算例		換算例	
x	y	x	y
300	40	30	40
450	60	45	60
600	80	60	80
800	90	90	90

- ※2 地球圏生命物質科学系専攻（化学コース）の試験では、専門科目の一部を英語で出題します。
- ※3 地球圏生命物質科学系専攻（地球科学コース）の試験では、はじめに希望する研究の内容等について、液晶プロジェクターを用いてプレゼンテーションを10分間していただきます（PCは各自で用意してください）。引き続き、その内容をふまえた質疑応答・面接を行います。
- ※4 面接では、志望する専攻・コースに関連した学力について、問うことがあります。
- ※5 基盤科学系専攻情報科学コースの試験では、研究分野によって物理学コースの専門科目（受験区分コード42）で受験できる場合があります。出願前に希望する指導教員と相談してください。
- ※6 受験区分コード51, 53, 56の応用数学の学力検査では、筆記試験または工学系数学統一試験の成績による評価のいずれかを選択することができます。

換算式については、別表2を参照してください。

志願者は、以下の二つの方法から一つを選択し、志願票に記載してください。

- 1) 応用数学の筆記試験を受験する方法。
- 2) 工学系数学統一試験の成績表を提出し、換算式に従って応用数学の評価を受ける方法。この場合、出願時に成績表とそのコピーを提出してもらいます。（オリジナルは確認後に返却します。）
換算は、工学系数学統一試験の「微分積分」「線形代数」の2分野と「常微分方程式」または「確率・統計」いずれか1分野の合わせて3分野の合計得点(300点満点)に対してなされます。
分野の選択の申告は出願時に行います。なお、工学系数学統一試験の成績は、2024年度、2025年度及び2026年度に受験した成績を採用します。

別表2：工学系数学統一試験の換算式

工学系数学統一試験の3分野（「微分積分」「線形代数」の必修2分野と「常微分方程式」または「確率・統計」の選択1分野を合わせた3分野）の合計得点（300点満点）を応用数学（100点満点）に換算して評価します。換算式は以下のとおりです。

x：工学系数学統一試験3分野の合計得点

A：工学系数学統一試験3分野の山口大学受験者の平均点

- ・2024年度：「常微分方程式」を選択した場合 A=113
「確率・統計」を選択した場合 A=110
- ・2025年度：「常微分方程式」を選択した場合 A=145
「確率・統計」を選択した場合 A=142

・2026年度：平均点Aが算出され次第、本研究科のホームページに掲載

y：換算点（100点満点における評価点）

$y = (60/A) x,$ ただし、$y = 100$を上限とする。
--

- ※7 化学系専攻の物質化学コース及び生命化学コースの専門科目は、口頭試問により学力を問います。

2. 専門科目の内容

「理学系」

専攻名	コース名	受験区分コード	専門科目の内容	備 考
基盤科学系専攻	物理学コース	42	力学, 電磁気学, 量子力学, 統計熱力学, 物理数学, 物理一般から4問選択して解答する。	
	情報科学コース	43 (または42) ※	基礎数学, 応用数学, 情報基礎の各分野から出題する。基礎数学分野から出題する2問は必修, 応用数学分野と情報基礎分野からは3問出題し, その中から2問を選択して解答する。	
地球圏生命物質科学系専攻	生物学コース	44	生物学の分野から4問を選択して解答する。	
	化学コース	45	分析・無機化学, 有機化学, 物理・量子化学から, 出題する。	関数電卓*

※基盤科学系専攻情報科学コースの試験では, 研究分野によって物理学コースの専門科目(受験区分コード42)で受験できる場合があります。出願前に希望する指導教員と相談してください。

「工学系」

専攻名	コース名	受験区分コード	専門科目の内容		備 考
建設環境系専攻	社会建設工学コース	56	構造力学, 土質力学, 水理学	3分野必修	関数電卓*
	国際建設技術コース	56			
化学系専攻	物質化学コース	51	領域A: 物理化学, 無機化学, 化学工学	2領域のうち出願時に1領域選択	出願時に選択した領域について口頭試問で学力を問う。
	生命化学コース	51	領域B: 有機化学, 高分子化学, 生物化学		
電気電子情報系専攻	電子デバイス工学コース	53	電磁気学, 電気回路	2分野必修	
	電子システム工学コース	53			

*使用可能な機能(四則演算, 三角関数, 指数関数, 対数, 平方根)以外を使用した場合は不正行為となります。

3. 選 抜 期 日

「理学系」

専攻名	期 日	試 験 科 目	時 間
基盤科学系専攻	令和8年12月9日(水)	専門科目	9時30分～12時30分
地球圏生命物質科学系専攻	令和8年12月10日(木)	面接, プレゼンテーション	9時30分～

「工学系」

専攻名	期 日	試 験 科 目	時 間
機械工学系専攻	令和9年2月12日(金)	応用数学	10時30分～12時00分
建設環境系専攻		専門科目	13時30分～16時30分
化学系専攻		面接	16時45分～
環境化学・化学工学コース		面接	16時45分～
電気電子情報系専攻		面接	16時45分～
化学系専攻		面接	16時45分～
物質化学コース		応用数学	10時30分～12時00分
生物化学コース		専門科目(口頭試問)	13時30分～
		面接	専門科目終了後

(備考) 受験区分コード41, 52, 54, 55, 57の受験者は面接のみとします。

令和8年12月10日(木)のプレゼンテーションについては, 受験区分コード46の受験者が対象です。

4. 試 験 場

「理学系」 山口大学理学部 山口市吉田1 6 7 7-1

「工学系」 山口大学常盤キャンパス 宇部市常盤台2丁目1 6-1

VI 合 格 発 表

「理学系」 令和9年1月4日（月）正午（予定）

「工学系」 令和9年3月5日（金）正午（予定）

創成科学研究科ホームページ（<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gsti/index.html>）に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。なお、電話による照会には一切応じません。

VII 入 学 手 続

入学手続書類は、理学系については2月中旬頃に送付、工学系については合格通知書とともに送付しますので、次の期日までに理学系の合格者は理学部学務係、工学系の合格者は常盤キャンパス学部事務部学務課入試係において入学手続を完了してください。

1. 入学手続期間

「理学系」 令和9年2月26日（金）～3月2日（火）《17時15分まで》

「工学系」 令和9年3月9日（火）～3月11日（木）《17時15分まで》

2. 入学時に要する経費

(1) 入学料及び授業料

入学料（入学手続時納付）	282,000円（予定額）
授業料（入学後納付）	前期分 321,480円（予定額）
	後期分 321,480円（予定額）

注1. 本募集要項公表後、令和9年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は改定額との差額を納入していただくことになります。

2. 在学中の授業料の納付は、自動払込利用申込書に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日（末日が土・日の場合は、その前の平日）に学生（または学資負担者）名義の口座から自動的に引き落とし大学に納付することになります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。

3. 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。

4. 入学手続を行った者が入学を辞退したときは、納付済の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(2) 諸経費

学生教育研究災害傷害保険料 2,430円（学生教育研究賠償責任保険を含みます。）

(3) 後援会費、同窓会費

[理学系]

教育後援会費

本学理学部出身者で既に入会済の方	8,000円
本学理学部出身者で新規に入会される方	11,000円（入会金3,000円を含む。）
上記以外の方	14,000円（入会金6,000円を含む。）

[工学系]

山口大学大学院創成科学研究科（工学系）教育後援会費	10,000円
常盤工業会（山口大学工学部・情報学部同窓会）費	100,000円（終身会費）

（常盤工業会（山口大学工学部・情報学部同窓会）費を既に納入済みの者、または現在納めている者は、不要です。）

Ⅷ そ の 他

1. 身体に障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、対応を事前に協議しますので、希望する対応を記載した相談書（10ページに様式を記載）を4ページ「Ⅳ 出願手続等の5. 提出先」へ次のとおり提出のうえ、相談してください。

- (1) 相談書に記載する内容

- ①氏名、性別 ②郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス
- ③最終出身学校名（大学に在学している者は大学名）
- ④志望専攻名、希望指導教員氏名 ⑤障害等の種類・程度 ⑥受験上希望する具体的対応
- ⑦修学上希望する具体的対応 ⑧最終出身学校における生活状況等（主として授業関係）
- ⑨その他
- ⑩添付書類（医師の診断書、身体障害者手帳（写）（交付を受けている者））、その他相談する際に必要と思われる参考資料

- (2) 相談書の提出期限

「理学系」 令和8年10月13日（火）まで

「工学系」 令和9年1月22日（金）まで

2. 入学科及び授業料の納付が困難な者に対しては、それぞれ免除する制度があります。この制度により、入学科及び授業料の免除を希望する者は、下記へ問い合わせください。

- ・ 山口大学学生支援部学生支援課経済支援係
山口市吉田1677-1 電話(083)933-5611
- ・ 山口大学常盤キャンパス学部事務部学務課学生係
宇部市常盤台2丁目16-1 電話(0836)85-9011

Ⅸ 注 意 事 項

1. 受験の際に、受験票を必ず携行してください。
2. 試験開始20分前までに試験室に入室してください。
3. 受験に際して、机には受験票、鉛筆、消しゴム、時計（計時機能だけのもの）、関数電卓（持参を指定した受験区分で特殊な機能がないもの）以外のものを置いてはいけません。
受験会場には、時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
4. 学力検査に不要な携行品は、監督者の指示する場所に置いてください。
また、携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
5. 提出書類については、出願手続後、内容の変更は認めません。
6. 応用数学を筆記試験で受験する場合、関数電卓の使用はできません。
7. 専攻によって出願先及び試験場等が異なるので注意してください。
なお、入学試験に関する問い合わせ先は、次のとおりです。
「理学系」 山口大学理学部学務係 電話(083)933-5215
「工学系」 山口大学常盤キャンパス学部事務部学務課入試係 電話(0836)85-9012
8. 入学手続完了者は、学部3年次までの成績証明書を3月末日までに4ページ「Ⅳ 出願手続等の5. 提出先」へ提出してください。

(様式)

令和 年 月 日

山口大学 副学長（教育学生担当） 殿

フリガナ
氏名
性別
住所〒

電話番号
メールアドレス
最終出身学校名（大学に在学している者は大学名）

事前相談書

山口大学大学院に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する研究科・専攻（専修、コース等）及び入試種別
2. 希望指導教員名（希望があれば記載）
3. 障害等の種類、程度
4. 受験上の配慮を希望する事項
5. 修学上の配慮を希望する事項
6. 最終出身学校における生活状況等（主として授業関係）
7. その他
8. 添付書類
 - ☐ 医師の診断書（写し可）または障害者手帳の写し ※配慮の根拠を示す書類として、いずれかを必ず添付してください。日本語または英語の診断書を推奨します。
 - ☐ その他相談する際に必要と思われる参考資料

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内

(※教員の役職名は令和8年10月1日現在のものです)

科学技術の高度化と多様化に対応して学問がますます専門化していく一方、従来の学問体系にみられない新しい境界領域と学問領域が開拓され科学技術の総合化が進められています。

本大学院創成科学研究科は、このような学問の高度化と総合化に幅広く柔軟に対応し得る研究者・技術者を養成するために、多様な教育研究体制を準備しています。所属以外の専攻の授業科目も履修するように指導するだけでなく、他研究科の履修も可能です。

本大学院創成科学研究科博士前期課程の専攻・コース及び研究内容は、別記のとおりです。入学後は、特定の専攻・コースに所属し、指導教員の下で研究を行うことになります。次ページ以降の案内を参考に志望専攻・コース及び指導教員を選定してください。

*** 1 令和9年3月末退職予定**

*** 2 令和10年3月末退職予定**

VI. 教員研究内容一覧

(博士前期課程)

基盤科学系専攻[Division of Fundamental Sciences]

コース	研 究 内 容	教 員 名
数 理 科 学 コ ー ス	フーリエ解析，偏微分方程式論，関数解析，数理モデル	教 授 廣澤 史彦
		准教授 幡谷 泰史
		准教授 山崎 陽平
		助 教 小杉 千春
	環論，加群論，数論	教 授 菊政 勲 *1
		教 授 倉富 要輔
		准教授 南出 真
		講 師 平川 義之輔
	微分幾何学，幾何解析学，大域解析学	講 師 只野 誉
	写像の特異点論及びその微分幾何学への応用	講 師 寺本 圭佑
	位相幾何学，結び目理論，3次元多様体	教 授 宮澤 康行
		講 師 姫野 圭佑
		助 教 脇條 奈生子
	代数的組合せ論，離散幾何学	准教授 栗原 大武
	流体力学や電磁気学への数学的アプローチ	教 授 西山 高弘
	解析的な一変数複素関数の基本的・応用的な性質に関する研究	教 授 堀田 一敬
	代数多様体のガロワ点理論	教 授 三浦 敬
	タイヒミュラー空間の複素解析的研究	准教授 柳下 剛広
物 理 学 コ ー ス	群論，半順序集合の幾何	教 授 飯寄 信保
	数式処理	教 授 北本 卓也
	分光法による溶液分子の構造と物性及び電子状態に関する研究	准教授 堀川 裕加
	強相関電子系化合物の磁性，伝導特性，相転移に関する研究	講 師 藤原 哲也
	非平衡多体系ダイナミクスの理論的研究	助 教 日浦 健
	電磁信号解析的手法による宇宙物理学の観測的研究	教 授 藤澤 健太
		教 授 新沼 浩太郎
		准教授 元木 業人
	宇宙の創生・進化と強重力天体に関する理論的研究，スポーツ動作の物理学的研究	教 授 坂井 伸之
	宇宙論および重力理論の検証に関する理論的研究	准教授 齊藤 遼
情 報 科 学 コ ー ス	計算論的神経科学，脳の学習理論，音楽情報科学	教 授 西井 淳
	人間や生体の視覚機能及び情報処理機能に学んだ知的画像処理に関する研究	教 授 末竹 規哲
	情報処理に関する数理モデルの理論的研究	教 授 川村 正樹
	生体分子系におけるコンピュータシミュレーション	教 授 浦上 直人
	誤り訂正符号に関する理論とその応用	准教授 野崎 隆之
	機械学習を用いた統計的データ解析の身体運動科学への応用	講 師 栗原 俊之
	脳神経回路の大規模数値シミュレーション	助 教 小林 泰良
	機械学習の手法を用いた電波天文に関する研究	助 教 酒見 はる香

(博士前期課程)

地球圏生命物質科学系専攻[Division of Earth Science, Biology, and Chemistry]

コース	研 究 内 容	教 員 名
生 物 学 コ ー ス	体内時計分子メカニズム研究と時間医学的応用研究	教 授 明石 真 (時間学研究所)
	原生生物の行動と繊毛機能に関する研究	教 授 堀 学
	細胞運動の光学顕微鏡を用いた研究	教 授 岩楯 好昭
	微細藻類の環境応答・代謝に関する研究	教 授 三角 修己
	昆虫の環境適応と表現型可塑性に関する生理代謝機構の研究	教 授 山中 明
	ツメガエル初期胚の細胞周期とオルガネラ形成の研究	准教授 上野 秀一
	植物の光応答・シグナル伝達機構の研究	若手先進教授 武宮 淳史
	細胞内オルガネラの形態制御機構の研究	准教授 原 裕貴
	昆虫の行動、形態、生活史の進化に関する研究	准教授 小島 渉
	メイオファウナの多様性に関する研究	助 教 藤本 心太
	昆虫の行動と形態を制御する遺伝学的メカニズムに関する研究	助 教 工藤 愛弓
化 学 コ ー ス	新規有機化合物の合成と物性に関する教育と研究	准教授 藤井 寛之 (大学研究推進機構)
	分子集合体・分子性結晶の構造と物性に関する研究	教 授 綱島 亮
	有機化合物を中心とした光機能物質の研究	教 授 川俣 純
	低次元化合物を用いた機能性材料の開発	准教授 鈴木 康孝
	固体表面における物理物性と電気化学的反応性からの教育と研究	教 授 本多 謙介
	バルク・界面・表面における分子集合体に関する研究	准教授 安達 健太
	分子認識能を有する機能性高分子に関する教育と研究	准教授 藤原 勇 (教育・学生支援機構)
	典型元素と非交互共役系の電子特性を活かした有機分子の研究	教 授 村藤 俊宏
	高効率的な有機合成を指向した新規分子変換法の開発に関する研究と開発	准教授 上條 真
	金属錯体の物性と機能の研究	助 教 鈴木 敦子
	ヘテロ芳香族化合物群の電子物性に対する計算・実験化学的手法を用いた系統性探究	助 教 濱本 信次
地 球 科 学 コ ー ス	熱帯および暖流域における新生代の古海洋・古気候変動の復元	講 師 岩谷 北斗
	小規模深成岩体の岩石学的研究	助 教 江島 圭祐
	地質災害の発生機構と地盤・地下水環境解析に関する研究	教 授 太田 岳洋
	堆積、圧密、付加、崩壊プロセスに関する研究	教 授 川村 喜一郎
	堆積有機分子による古環境・古生物相の研究	講 師 齊藤 諒介
	沈み込み帯・衝突帯における地震断層の発生メカニズム・変形微細構造と物理化学的プロセスの研究	助 教 Sarkar Dyuti Prakash
	陸域及び海域の付加体地質学と海溝型地震学	教 授 坂口 有人
	変成岩に関わる温度-圧力とテクトニクスの解析	教 授 志村 俊昭
	付加体・火山地域におけるフィールド地質学	講 師 辻 智大
	地球・惑星構成鉱物における遷移金属と水素の存在状態・結晶構造・物性の系統的解明に関する研究	教 授 永寫 真理子
	プレート収束帯の構造発達史・地震発生メカニズム・堆積環境場の変遷に関する研究	講 師 濱橋 真理 (国際総合科学部)

(博士前期課程)

機械工学系専攻[Division of Mechanical Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
応用 医工 学 コース	生体内力学解析，生体・医療材料の力学特性評価に関する教育と研究	教 授 大木 順司
	画像処理などを使った生体測定と数値計算を用いた医療機器の設計に関する教育と研究	教 授 森 浩二
	埋植型の局所脳温度制御デバイス並びに多機能脳活動センサの開発とこれらデバイスにより得られる病態性脳活動の信号処理技術の開発に関する教育と研究	准教授 井上 貴雄 (大学研究推進機構)
	分子シミュレーションによる生体材料の力学特性・構造変化の分子レベルでの評価に関する教育と研究	准教授 重松 大輝
航空 宇宙 エネ ルギ ー コース	人工衛星からのリモートセンシング技術，処理アルゴリズム，および地球環境監視への応用に関する教育と研究	教 授 今岡 啓治 (大学研究推進機構)
	人工衛星データを利用した地球観測の応用に関する教育と研究	教 授 大澤 高浩 (大学研究推進機構)
	熱CVD法による薄膜生成，燃焼反応による微粒子生成，木質バイオマスからの燃料生成に関する教育と研究	教 授 田之上 健一郎
	エンジンの燃焼・騒音特性，噴霧・液滴群の燃焼，マイクロ燃焼に関する教育と研究	教 授 三上 真人
	産業界や実社会への活用を目指した境界層や噴流などの基本的な流れの解明と制御に関する教育と研究	教 授 望月 信介 *1
	ネットゼロ社会を実現するためのエネルギー機械およびシステムの分析・設計・制御に関する教育と研究	准教授 上道 茜
	複雑な流動現象のモデル開発及び数値シミュレーションに関する教育と研究	准教授 蔣 飛
	プラズマを用いたカーボンニュートラル燃料製造に関する教育と研究	准教授 白石 僚也
メカ ノシ ス テ ム デ ザ イ ン コース	ハイブリッドロケットに用いる固体燃料の燃焼・燃料分析に関する教育と研究	講 師 坂野 文菜
	事業戦略立案から計算機による高度解析を駆使した最適設計に至る，機械システム設計における一連の理論と支援方法に関する教育と研究	教 授 古賀 毅
	人間・機械システムに関する諸問題，解析的制御理論と機械学習技法の融合に関する教育と研究	教 授 藤井 文武
	ロボティクスに資するセンサ・アクチュエータのシミュレーションおよび実験融合による設計・開発に関する教育と研究	教 授 森田 実
	動的システムのモデリングと制御に関する教育と研究	准教授 新銀 秀徳
	マイクロデバイスの開発とバイオシステムへの応用に関する教育と研究	准教授 中原 佐
	鉄鋼材料の組織制御と特性評価に関する教育と研究	准教授 Arnaud MACADRE
メカ ノシ ス テ ム デ ザ イ ン コース	機械システムの幾何形状・制御の同時最適化手法に関する研究，太陽および地球周りにおける宇宙機の軌道最適化に関する研究	准教授 山口 皓平

(博士前期課程)

建設環境系専攻[Division of Construction and Environmental Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
社会建設工学コース	河川・流域における自然環境・防災に関わる教育と研究	教 授 赤松 良久
	耐候性鋼橋梁を中心とした鋼橋の腐食と維持管理に関する研究	教 授 麻生 稔彦
	都市や地域の活動を支える社会基盤を計画的に整備・マネジメントするための研究	教 授 榊原 弘之
	環境性能・防災性能・維持管理性能に優れた道路構造に関する教育と研究	教 授 中島 伸一郎
	土質材料の力学特性および地盤工学の数値解析に関する研究	教 授 中田 幸男
	環境共生都市実現のための技術開発および豊かな水環境の保全に関する教育と研究	教 授 山本 浩一
	地盤工学における資源の開発と有効利用に関する教育と研究	准教授 吉本 憲正
	鋼橋の腐食・防食と維持管理による橋梁長寿命化に関する研究	講 師 蓮池 里菜
	コンクリートの製造・施工・維持管理の高度化に関する教育と研究	講 師 山田 悠二
国際建設技術コース	水理学に関する基礎的研究とその防災および環境問題への応用	教 授 朝位 孝二 *1
	地震ならびに降雨時の地盤の諸性質の評価と設計法についての教育と研究	教 授 鈴木 素之
	セメント系材料による複合構造の設計・施工・メンテナンスに関する教育と研究	教 授 吉武 勇
	自然災害で汚染された土壌の微生物による浄化に関する研究	准教授 Md. Azizul Moqsud
	写真測量・リモートセンシング・統計解析に関する教育と研究	准教授 神野 有生
	態度・行動分析を基盤とした都市・地域計画に関する教育と研究	准教授 鈴木 春菜
	種々の地盤材料の性質とその評価に関する教育と研究	准教授 原 弘行
	土構造物の設計・施工・維持管理に関する教育と研究	准教授 森 啓年
環境システム工学コース	循環型社会実現のための、有用資源の再生技術、廃水处理・廃棄物処理技術、リサイクルシステムに関する教育と研究	教 授 今井 剛
	環境汚染の評価・制御および廃棄物管理に関する教育と研究	教 授 樋口 隆哉
	廃棄物資源循環技術、ライフサイクルアセスメント、物質フローに関する研究	助 教 程 英超
建築学コース	都市・建築空間を中心とした企画・計画および設計に関する教育研究	教 授 鵜 心治
	地域固有の条件を考慮した住居・地域計画に関する教育と研究	教 授 牛島 朗
	「まち」と「建築」，「環境」と「形態」，「感性」と「工学」の関係性をグローバルな視点で分析・評価をすることによる「建築デザイン」の実践的教育と研究	教 授 清水 里司
	サステナブルな都市づくりの観点から地区・街区スケールでの空間デザイン・マネジメントに関する教育研究	教 授 宋 俊煥
	屋内や屋外の温熱環境の評価と最適設計並びに環境共生型建築設備の研究開発	教 授 三浦 克弘 *2
	建築材料の性能評価・解析的予測法および環境配慮型選択・設計法の研究開発	教 授 李 柱国
	屋内や屋外の温熱環境の評価と最適設計並びに環境共生型建築設備の研究開発	准教授 桑原 亮一
	都市住宅の政策およびその計画・設計に関する教育研究	准教授 白石 レイ
	木質材料を中心とした建築構法・構造システムの開発及び史的研究	准教授 松本 直之
	建築物の構造性能、耐震性能の評価に関する研究および合理的な建築構造システムの開発	講 師 秋田 知芳
	「都市」と「建築」，「熱環境」と「グリーンインフラ」の関係性を多尺度的に分析・評価することによる建築・都市環境デザインに関する研究	講 師 劉 海強

(博士前期課程)

化学系専攻[Division of Applied Chemistry]

コース	研 究 内 容	教 員 名
物質化学コース	リチウム二次電池用機能性電解液に関する教育と研究	教 授 安部 浩司 (大学研究推進機構)
	有機ゲル化剤や液晶材料など有機機能性材料の合成と応用に関する教育と研究	教 授 岡本 浩明
	有機エレクトロニクスデバイスに適用できる新規材料を有機化学的手法を用いて合成し、それを用いたデバイスの作製と評価に関する教育と研究	教 授 鬼村 謙二郎
	エネルギーの創製, 物質の効率的変換や環境保全などを担う触媒合成とその機能解明に関する教育と研究	教 授 酒多 喜久 *1
	機能性無機材料の固体化学および結晶構造と物性の相関に関する教育と研究	教 授 中塚 晃彦
	無機および無機-有機複合材料の合成とエネルギー・環境応用に関する教育と研究	教 授 中山 雅晴
	機能性電解質溶液・ゲルの熱力学および構造化学と環境調和型材料への展開研究	教 授 藤井 健太
	高機能セラミックスの開発とスペクトロスコピー	准教授 藤森 宏高
	機能性超分子材料の合成と分子マシンへの応用に関する教育と研究	准教授 山吹 一大
	分光法による固体触媒の機能解明に関する教育と研究	准教授 吉田 真明
	結晶成長機構の発見とその応用技術の確立を目指した新しい結晶成長学	講 師 麻川 明俊
	資源循環およびエネルギー創製に向けた新規材料開発のための教育と研究	助 教 吉田 航
生命化学コース	金属触媒を利用する新しい有機合成反応開発のための教育と研究	教 授 西形 孝司
	食・エネルギー・医療へ貢献するための生物工学技術開発と生命機能解析に関する教育と研究	教 授 星田 尚司
	バイオ, メディカルあるいは食品プロセスの解析・開発のための生物化学工学および生物反応工学に立脚した教育と研究	教 授 吉本 誠
	元素の特性を利用する新しい有機反応開発のための教育と研究	准教授 川本 拓治
	バイオ, メディカルあるいは食品プロセスの解析・開発のための生物化学工学および生物反応工学に立脚した教育と研究	准教授 吉本 則子
	食、エネルギー、環境または医療へ貢献するための生物工学、分子生物学および生命機能解析に関する教育および研究	助 教 寺内 裕貴 (大学研究推進機構)
	励起状態の特性を利用した有機反応・分子性材料の開発に関する教育と研究	助 教 岡村 俊孝
	計算化学による化学反応設計および医・工学材料創成に関する教育と研究	助 教 住谷 陽輔
環境化学・化学工学コース	無機材料をベースとした新規電極材料合成と電気化学反応評価に関する教育と研究	教 授 喜多條 鮎子
	化学プロセスの高効率化, 最適化, 省エネルギー化について, 移動現象とプロセス設計の立場からの教育と研究	教 授 佐伯 隆
	計算化学による触媒反応の反応機構探索と新規機能性材料の分子設計および開発に関する教育と研究	教 授 隅本 倫徳
	化学物質の省資源・省エネルギー的な製造プロセスの開発と応用, および高機能・高性能材料の開発と応用に関する教育と研究	教 授 田中 一宏 *1
	分離膜, 機能性ゲル, 固体高分子電解質などの機能性高分子材料と, これを応用した省エネルギー分離プロセスに関する教育と研究	教 授 比嘉 充 *1
	環境低負荷で高効率な製造・応用プロセスを実現する微粒子デザイン開発に関する教育と研究	准教授 石井 治之
	複雑流体の特性評価とその内部構造の理解, および他の物性との関連付けによる流動現象の解明に関する教育と研究	准教授 貝出 絢
	生体触媒を利用した環境調和型化学プロセスの設計と機能性材料の開発に関する教育と研究	准教授 通阪 栄一
	触媒反応を利用した機能性有機化合物の合成と機能性有機材料の開発とに関する教育と研究	准教授 山本 豪紀
	高分子電解質膜などの高分子材料を用いた電気化学反応プロセスに関する教育と研究	講 師 遠藤 宣隆
	高分子膜を用いたイオン分離, イオン輸送機構の解明, および創エネルギーに関する教育と研究	助 教 杉本 悠

(博士前期課程)

電気電子情報系専攻[Division of Electrical, Electronic and Information Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
電子デバイス工学コース	微細構造制御及び計算物性手法による通信・記録・エネルギー変換用電子デバイスの開発	教 授 赤井 光治 (国際総合科学部)
	スピントロニクス材料および微細加工を用いた磁性デバイス応用に関する研究	教 授 浅田 裕法 *1
	イオン性プラズマの生成とその物性解明に関する研究	教 授 大原 渡
	コンピュータ・シミュレーションによる物性の研究	教 授 仙田 康浩
	スピン伝導現象の解明とそれらを用いた新規スピントロニクス素子開発	教 授 長浜 太郎
	ナノスケールを舞台とした新奇な磁性・超伝導現象の探索とデバイス応用	准教授 家永 紘一郎
	量子多体系のためのシミュレーション・機械学習手法の開発と量子物質への応用に関する研究	准教授 井戸 康太
	窒化物半導体を用いた次世代型光・電子デバイスの開発	准教授 岡田 成仁
	金属系超伝導体や酸化物超伝導体を用いた線材の開発や超伝導コイルの設計・応用に関する研究	准教授 原田 直幸
	顕微分光学的手法を用いたワイドギャップ半導体の光学評価に関する研究	講 師 倉井 聡
	熱電材料・デバイスの開発	助 教 岸本 堅剛
	水素負イオン生成プロセスの解明に関する研究	助 教 FENG SHUANGYUAN
電子システム工学コース	ビッグデータ、クラウド・エッジ、IoTに対する数値最適化および知的計算に基づく理論と応用に関する研究	教 授 田村 慶信
	EV非接触給電システム、マイクログリッド向け電力変換装置など、次世代パワー半導体デバイスを応用した高効率なパワーエレクトロニクス回路・システムに関する研究	教 授 三島 智和
	無線信号処理技術と無線ネットワークへの応用に関する研究	教 授 村田 英一
	システム制御およびシステム最適化の理論と応用に関する研究	教 授 若佐 裕治
	システム制御理論とその応用に関する研究	准教授 足立 亮介
	知能化計測およびシステム工学の理論と応用に関する研究	准教授 西藤 聖二
	高効率無線電力伝送システムの開発、並びに媒質内における電磁界解析とその光・マイクロ波デバイスへの応用に関する研究	准教授 堀田 昌志
	知的センシング及び知能情報処理とその応用に関する研究	講 師 中島 翔太

(博士前期課程)

電気電子情報系専攻[Division of Electrical, Electronic and Information Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
知能情報メディア工学コース	非線形科学や視覚心理学的手法に基づく人の視知覚の理解と、その画像処理、映像表現技術への応用に関する研究	教 授 長 篤志
	コンピュータグラフィックスによる画像生成とバーチャルリアリティ等の応用システム開発に関する研究	教 授 多田村 克己 *1
	聴覚メディアに関する現象の解析・理解・再現および工学的応用に関する研究	教 授 爲末 隆弘 (ICT基盤センター)
	宇宙インフラ（地球観測衛星・測位衛星・通信衛星を中心とした宇宙技術）を利活用して得られる膨大な空間・地理データの解析および利用手法に関する教育と研究	教 授 長井 正彦 (大学研究推進機構)
	機械学習を用いた知的情報処理モデルの構築と大規模データ分析等への応用に関する研究	教 授 間普 真吾
	視覚系を中心とした人間の知覚認知メカニズムの解明	准教授 相田 紗織
	人間の聴覚情報処理機構に基づいた音環境の計測・予測・評価および制御に関する研究	准教授 佐伯 徹郎
	脳の情報処理機構の解明による知的情報処理システムの構築とリモートセンシング分野への応用に関する研究	准教授 佐村 俊和 (大学研究推進機構)
	ニューロイメージング、アイトラッキング、神経心理学的評価を用いた外発的・内発的動機付けの脳内メカニズムの包括的研究	准教授 重宗 弥生
	パターン認識及び画像処理の基礎と応用に関する教育と研究	准教授 藤田 悠介
	パターン認識や空間把握といった画像処理技術、ロボットの制御技術、学習支援システムに関する教育と研究	准教授 水上 嘉樹
	人の視覚を計算機で実現するコンピュータビジョンに関する研究	准教授 守田 了
	意図共有とヒューマン・エージェント・インタラクションに関する研究	准教授 安田 哲也
	医療分野における画像処理に関する教育と研究	助 教 池部 怜
	半教師あり深層学習」を用いたリモートセンシング分野への応用	助 教 Gerdprasert Thanawit (大学研究推進機構)
情報システム工学コース	社会・生態系モニタリングと気候変動緩和のためのジオインテリジェンスに関する研究	助 教 TRINH XUAN TRUONG (大学研究推進機構)
	計算機構の理論的解析と効率的なアルゴリズム構成に関する研究	教 授 王 躍 (ICT基盤センター)
	社会基盤施設や工業製品の自動外観検査、診断、さらにライフサイクルマネジメントを行う知的システムの企画・設計・開発・実用化に関する教育と研究	教 授 河村 圭
	社会基盤を対象とした情報システムの構築とメタヒューリスティックによる最適化手法の工学的応用に関する教育と研究	教 授 中村 秀明 *1
	高信頼並列分散システムおよびネットワークに関する教育と研究	教 授 福士 将
	ソフトウェア工学，システム工学などに関する教育研究	教 授 山口 真悟
	グラフアルゴリズムおよびデータマイニングに関する研究	准教授 荒木 徹也
	協調伝送，変復調，符号，信号処理，機械学習を融合した無線通信方式に関する研究	准教授 井田 悠太
	情報科学における生命科学への応用に関する研究	准教授 宇田 新介
	異種メディアコンテンツの融合に基づく情報共有支援システムに関する研究	准教授 王 元元
	自然災害や人為災害に対する被害抑止、軽減手法の開発および危機管理・防災システムの設計に関する教育と研究	准教授 瀧本 浩一
	耐故障性を有した並列分散システムに関する教育と研究	講 師 黒川 陽太
	サイバーセキュリティ上の脅威への対策に関する研究	助 教 山本 裕大